

電気電子情報工学科・学内獲得資金リスト

■ 研究・教育装置、研究設備及び情報処理関係設備

● 大型機器（4,000～7,000 万円）

平成 20 年度

- ・多田 隈 進（管理責任者）：「ラマンおよびピコ秒時間分解蛍光測定用走査型共焦点顕微鏡」

平成 24 年度

- ・小田 昭紀（管理責任者）：「医療・ナノ材料創製用大気圧プラズマ実験システム」

● 中型機器（500～3,000 万円）

平成 17 年度

- ・杉浦 修（管理責任者）：「SHG レーザ加工装置」

平成 20 年度

- ・関 弘和（管理責任者）：「筋電制御義手装置一式」

平成 22 年度

- ・脇本 隆之（管理責任者）：「高電圧試験システム」

平成 23 年度

- ・西田 保幸（管理責任者）：「スマートグリッド実験システム」

■ 私立大学戦略的基盤形成支援事業（研究拠点を形成する研究）（5 年間 1 億円以内）

平成 20 年度

- ・伊藤 晴雄（代表者）：
「電子と原子分子ホトン（光子）ダイナミクスの基礎とその先端応用技術の展開」

平成 25 年度

- ・脇田 和樹（代表者）：
「マイクロ領域／マクロ領域における複合プローブ技術の開発に関する研究」

■ 大学院の基盤整備・拠点重点化支援 研究科特別経費（3 年間 1,500 万円以内）

平成 21 年度

- ・脇田 和樹（代表者）：
「サブミクロン領域における励起電子の超高速遷移プロセスの可視化」

■ 外国人研究員等特別招へい経費（長期）

平成 21 年度

- ・ 脇田 和樹（担当者）：マメドフ ナジム（アゼルバイジャン物理学研究所）

■ 総合研究所助成研究（上限 70 万円）

平成 20 年度

- ・ 伊藤 晴雄：「オゾン発生器の性能向上を目指した基礎研究」
- ・ 関 弘和：「ヒトの筋電位信号パターン解析法とそれに基づく生活支援機器の
実用的制御設計法の開発」
- ・ 室 英夫：「標準 MEMS プロセスによる共振計センサの開発」
- ・ 久保田 稔：「組み込みシステムソフトウェア学習支援システムの研究」
- ・ 陶 良：「電磁誘導型音源を用いた地中埋設物三次元映像化方法の横方向探査能力」
- ・ 脇田 和樹：「ナノ空間変調構造をもつタリウム系化合物の構造相転移ダイナミクス」

平成 21 年度

- ・ 伊藤 晴雄：「オゾン発生器の性能向上を目指した基礎研究」
- ・ 関 弘和：「福祉用電動車椅子の高性能ブレーキ制御システムの開発」
- ・ 今野 将：「多様なユビキタス環境に適した知識主導型ネットワーク運用支援機構の研究」
- ・ 室 英夫：「SIO-MEMS 共振子の共振周波数の静電チューニングの検討」
- ・ 陶 良：「大きさの異なる複数地中埋設物の三次元映像化探査」
- ・ 飯田 一博：「横断面に配置した 2 スピーカによる 3 次元音像制御」
- ・ 脇田 和樹：「ナノ空間変調構造をもつタリウム系化合物のエピタキシャル成長と
相転移ダイナミクス」
- ・ 脇本 隆之：「高電圧計測における大気環境の影響の補正法の検討」

平成 22 年度

- ・ 伊藤 晴雄：「オゾンゼロ現象の根本的解明による次世代オゾンナイザーの設計」
- ・ 相知 政司：「数値計算を援用した静電容量と電位精密計測による分布誘電率推定」
- ・ 今野 将：「地域情報を用いて児童を「そっと」見守る児童見守りシステムの研究」
- ・ 清水 邦康：「結合発振回路に生ずる局所エネルギー波動現象に関する研究」
- ・ 室 英夫：「SIO-MEMS プロセスによる静電共振子プロトタイプ的设计・試作及び評価」
- ・ 脇田 和樹：「CdS ナノ結晶薄膜のサブミクロン領域における光学過程」
- ・ 脇本 隆之：「高電圧インパルス国家計測標準の不確かさの確立に関する研究」

平成 23 年度

- ・ 伊藤 晴雄：「オゾンゼロ現象の根本的解明による次世代オゾンナイザーの設計」
- ・ 相知 政司：「数値電界計算を援用した静電容量と複数点の電位計測による
分布誘電率推定に関する研究」
- ・ 今野 将：「地域情報を用いて児童を「そっと」見守る児童見守りシステムの研究」
- ・ 清水 邦康：「微小周期外力下の 2 次元発振回路に生ずるミックスモード振動」
- ・ 山本 秀和：「パワーデバイス用シリコン基板」

平成 24 年度

- ・ 相知 政司：「新機能性材料評価のための分布誘電率推定手法の実用化に関する研究」
- ・ 山本 秀和：「シリコンパワーデバイスにおけるキャリア寿命制御」

■ 重点配分予算（100～500万円）

平成 21 年度

- ・芳賀 裕（担当者）：「少人数教育におけるシステムデザイン能力育成の試み」
- ・関 弘和（担当者）：「学習支援システムの構築」

平成 22 年度

- ・相知 政司（担当者）：「教材ロボットキット BeautoChaser」

■ 教育研究用機器備品費追加配分

平成 22 年度

- ・山本 秀和（担当者）：「電気と磁気の相互作用」
- ・西田 保幸（担当者）：「パワーコンディショナー」

平成 23 年度

- ・脇田 和樹（担当者）：「ホール効果」
- ・脇田 和樹（担当者）：「光電効果」
- ・陶 良（担当者）：「超音波距離測定」
- ・今野 将（担当者）：「コンピュータ実験」

平成 24 年度（200～400万円の 2/3）

- ・佐藤 宣夫（担当者）：「SiC ダイオードの高速／高圧特性評価と表面電荷分布計測」
- ・長 敬三（担当者）：「簡易電波暗室」
- ・中林 寛暁（担当者）：「偏光状態の制御」
- ・室 英夫（担当者）：「MEMS デバイス温度分布評価装置」

平成 25 年度（450万円）

- ・水津 光司（代表者）：「FS テラヘルツ波光源の開発」

■ 教育研究助成金（100万円程度）

平成 20 年度

- ・多田隈 進（代表者）：「自主的な設計開発体験を重視した実験環境の構築」

平成 24 年度

- ・新井 浩志（代表者）：「プレゼンテーションをおこなうことによる理解度向上の取り組みに関する研究」

平成 25 年度

- ・水津 光司（代表者）：「幾何光学実験」

■ フォーラム（年間：20万円 + 構成人数×1万円）

平成 22～23 年度

- ・陶 良（代表者）：「音響情報フォーラム」

平成 23～24 年度

- ・山本 秀和（代表者）：「日本における分散型発電、スマートグリッドの普及加速」

平成 24～25 年度

- ・陶 良（代表者）：「音響工学フォーラム」

■ 科研費申請準備支援助成金（上限 100 万円）

平成 25 年度

- ・相知 政司（代表者）：「3次元移動物体に対する磁気共鳴方式を用いた無線給電に関する基礎研究」
- ・佐藤 宣夫（代表者）：「圧電薄膜カンチレバーを用いた多機能プローブ走査型顕微鏡の開発」
- ・水津 光司（代表者）：「広帯域テラヘルツ波反射分光による土器の非破壊分析」
- ・長 敬三（代表者）：「周波数選択性反射板を用いた移動通信基地局用周波数共用アンテナの研究」
- ・山本 秀和（代表者）：「パワー半導体デバイス用結晶品質向上」

■ 科研費採択者助成金（初年度）（50 万円程度）

平成 25 年度

- ・水津 光司（代表者）：「広帯域テラヘルツ波反射分光による土器の非破壊分析」
- ・長 敬三（代表者）：「周波数選択性反射板を用いた移動通信基地局用周波数共用アンテナの研究」

■ 科研費採択者助成金（最終年度）（10 万円程度）

平成 25 年度

- ・今野 将（代表者）：「児童見守りシステムのための高度な目的地推定手法の研究」
- ・清水 邦康（代表者）：「モデル生物が示すゆらぎの実用的効果と最適解探索手法への応用」
- ・脇田 和樹（代表者）：「光第二高調波発生によるタリウム系化合物のナノ空間変調構造の評価」

■ 外部獲得資金

「研究・教育活動報告」参照